

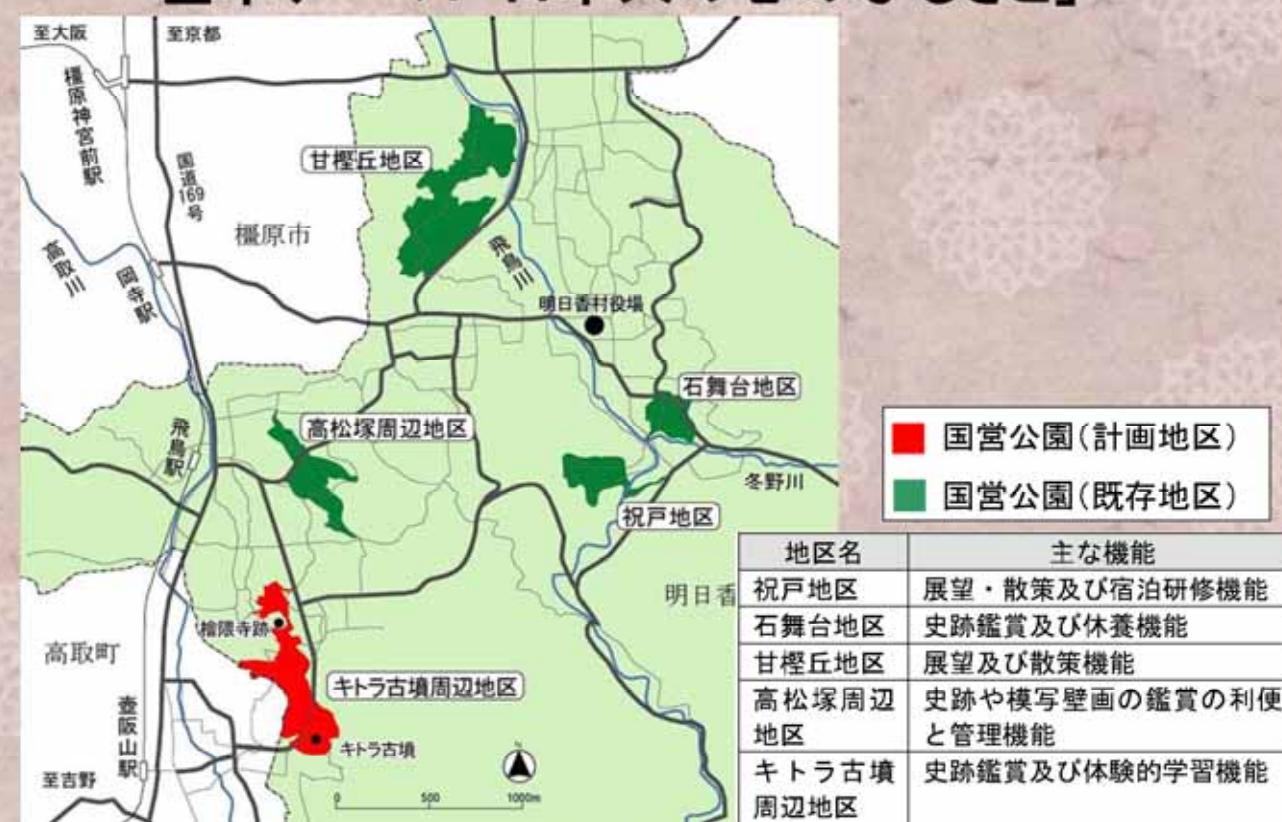
国営飛鳥歴史公園
キトラ古墳周辺地区
体験的歴史学習
基本構想検討委員会
(第1回)

平成22年 2月18日

国営飛鳥歴史公園
について

国営飛鳥歴史公園について

基本テーマ：「日本人の心のふるさと」



検討の流れ

検討の流れ

基本計画(H17年度)

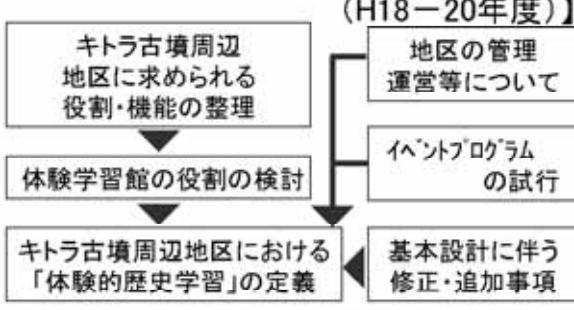
- 【国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区基本計画】
- ・国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区整備の前提と目的
 - ・国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区整備の基本方針
 - ・ゾーニング計画
 - ・導入する公園施設の概要

【基本計画策定時における体験的歴史学習の検討】

- ・計画諸元の設定と施設計画の検討
- ・体験的歴史学習の展開方策の検討
- ・維持管理・運営計画の検討
- ・空間計画の検討

体験的歴史学習の検討

【基本計画策定以降の検討】



【国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区体験的歴史学習基本構想検討委員会(H21年度)】



国営飛鳥歴史公園 キトラ古墳周辺地区基本計画 (H17年度)

基本方針

- キトラ古墳および檜隈寺跡の保全整備計画と連携し、人々に感動を与える史跡周辺の環境整備を図る
- キトラ古墳および檜隈寺跡の解説を通じ、飛鳥の歴史に関する情報発信・学習機能の提供を図る
- 飛鳥の歴史的風土を味わいながら、ゆったりと過ごせる公園空間の整備を図る
- 質の高い利便性・サービスの提供及び新しい維持管理手法の導入を図る

導入機能

- キトラ古墳および檜隈寺跡周辺の環境保全・修景機能
- 体験的歴史学習機能
- 歴史的風土(農地、森林)の保全・創出機能
- 飛鳥西南部における情報拠点機能
- 参加と交流を目指した新しい公園管理機能

ゾーニング

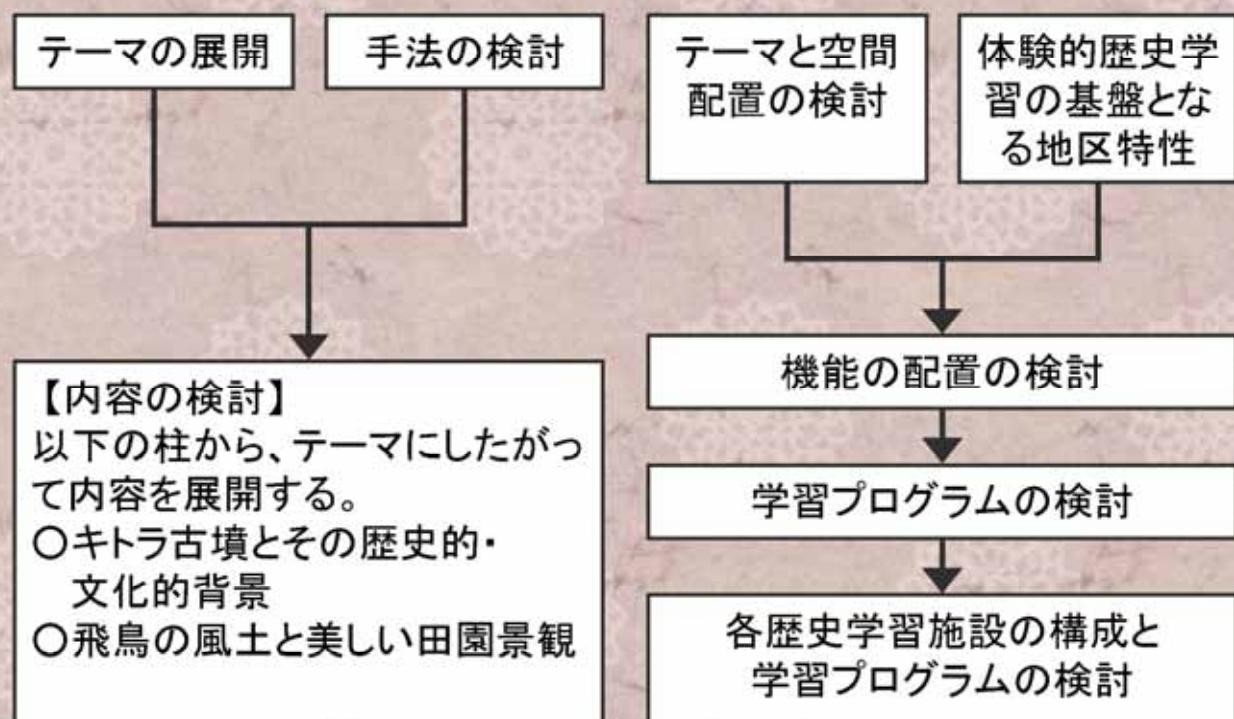
キトラ古墳および檜隈寺跡周辺の環境保全、体験的歴史学習の場の整備、歴史的風土の保存など、空間利用の観点から4つのエリアに分け、各エリアにおいてゾーンを設定する。



基本計画策定時における 体験的歴史学習の検討 (H17年度)

基本計画策定時における体験的歴史学習の検討

[体験的歴史学習の展開方策の検討]

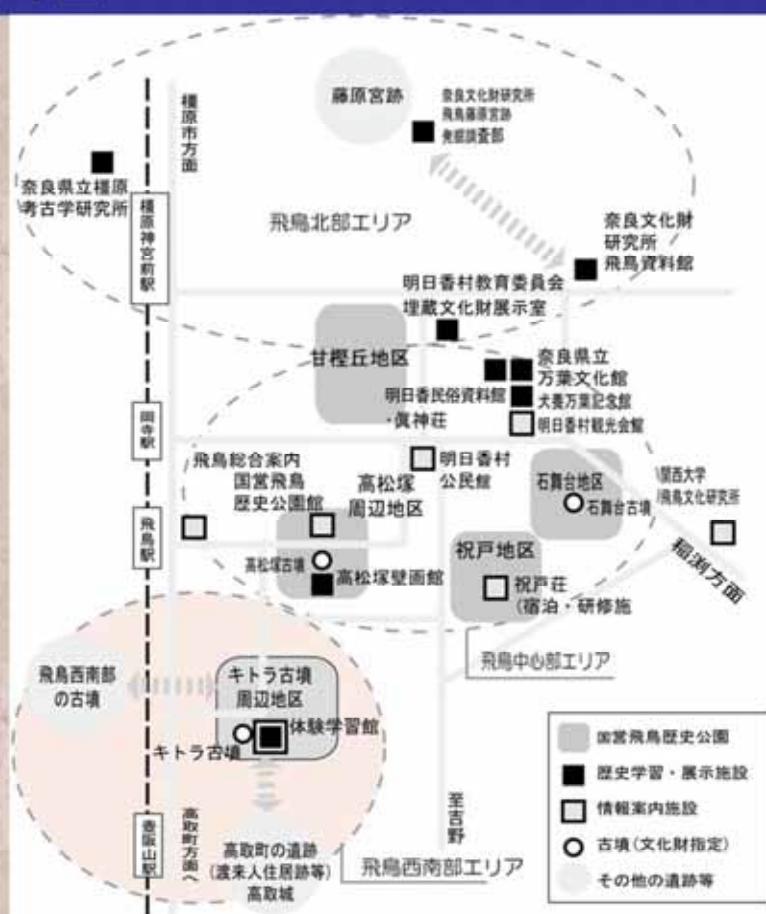


基本計画策定以降の
体験的歴史学習に関する検討
(H18-20年度)

求められる役割・機能の整理

- ・飛鳥地方の博物館等施設は飛鳥北部・中心部に集中しており、西南部には拠点となる施設がない。
 - ・飛鳥地方の施設は屋内での展示・解説が中心のものが多く、アクティビティの高い歴史学習を行っている施設は少ない。

【周辺類似施設の分布】



体験学習館の役割の検討

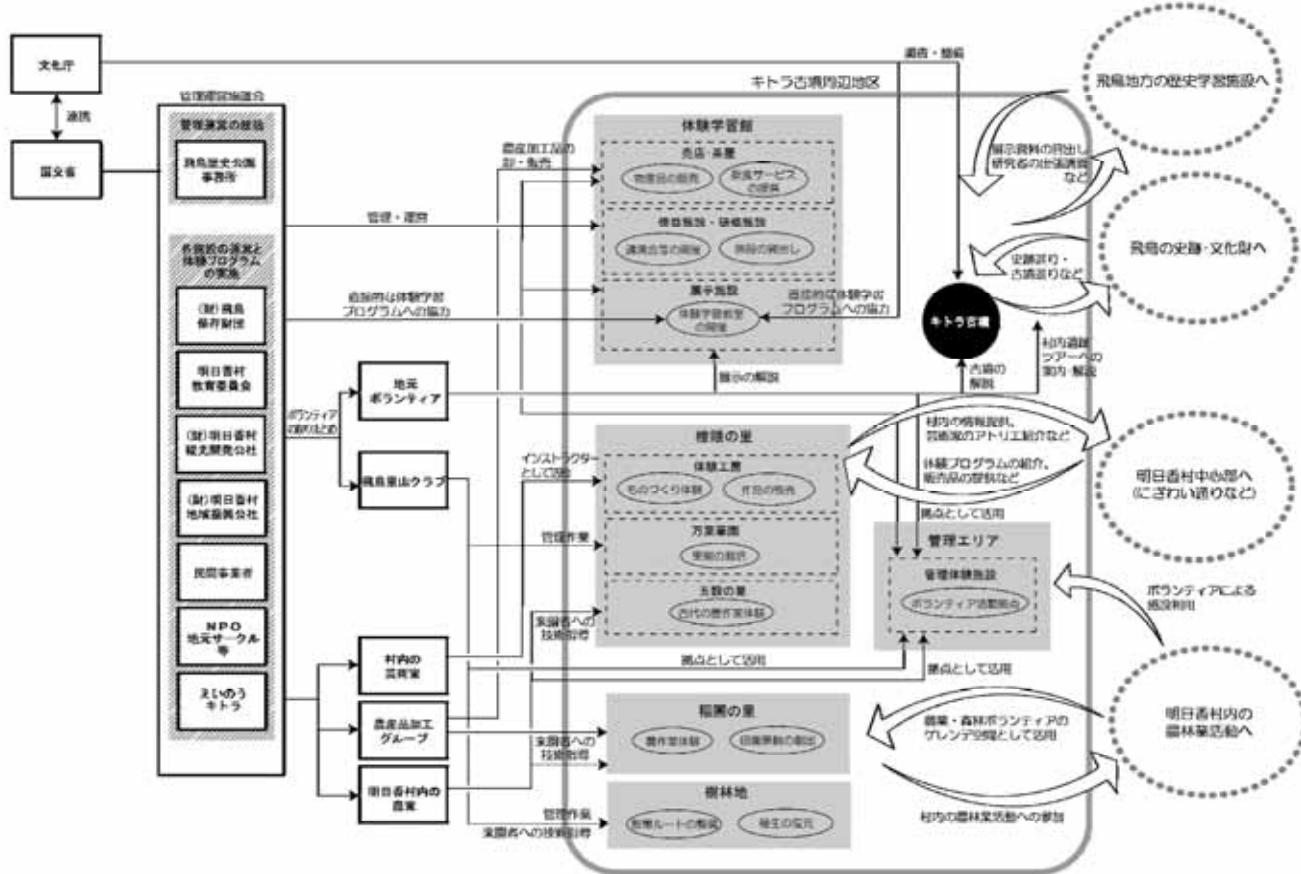
【平成19年度意見交流会 検討事項】

- 体験学習館の位置づけ
 - 体験学習館のコンセプト
 - 体験学習館の機能
 - 施設の配置・管理運営のあり方

【平成20年度意見交流会 検討事項】

- キトラ古墳周辺地区で行う体験的歴史学習について
 - 体験的歴史学習のための導入機能と施設配置
 - 管理運営の方向性

地区の管理運営等



地域と連携したイベントプログラムの試行

- 体験的歴史学習の一環として、明日香村、高取町および村内の活動団体とともに「イベントプログラム」を検討 (H19年度～)
- 開園前から試行的にイベント等を実施

明日香村のイベント「明日香まるごと体験ウォーク」の一会場として飛鳥来訪者への情報発信やサービスを行った。

- ・ミニスタンプラリー
- ・明日香の「食」の体験
- ・檜前の歴史ガイド



「ミニスタンプラリー」(H21年度)



「明日香の『食』の体験」(H21年度)

基本設計に伴う修正・追加事項



キトラ古墳周辺地区における「体験的歴史学習」の定義

【キトラ古墳周辺地区基本計画】

【計画の背景・条件】

- キトラ古墳周辺地区の持つポテンシャル
 - 「本物を見る」ことと「体験イベント」へのニーズの高まり
 - 文化財資料等の展示を中心である飛鳥地方の博物館等施設との棲み分け

【キトラ古墳周辺地区で行う体験的歴史学習】

- キトラ古墳周辺地区では、キトラ古墳周辺地区整備方針を受け、飛鳥の歴史や文化、風土について遊びながら楽しく学べる「体験的歴史学習」を展開する。
 - 「体験的歴史学習」とは、五感を使って楽しみながら飛鳥の歴史（古代～現代）や文化、風土について学ぶ、キトラ古墳周辺地区で行う普及・啓発活動の総称とする。

関連動向



キトラ古墳及び古墳壁画に関する議論

●キトラ古墳壁画取り外しについて

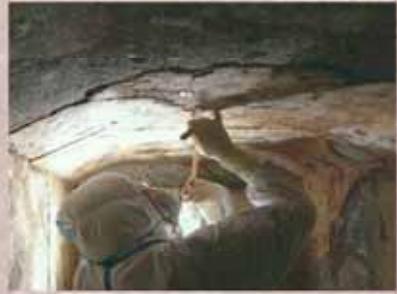
- ・四神、十二支、天文図など絵が確認されている部分の取り外しは全て終了
- ・現在は余白部分の漆喰の取り外しを実施中



●キトラ古墳の保存・活用について

○古墳壁画保存活用検討会(文化庁設置)で議論

- ・壁画については、当面の間、村内の適切な施設で保存管理しながら公開
- ・石室及び墳丘本体の扱いについては、引き続き検討



天井部分の取り外しの様子(文化庁)

周辺における遺構等の発掘調査・研究成果

- 平成19年度から明日香村教育委員会などによる調査実施
 - 史跡檜隈寺跡の北側谷部にて、小金銅仏片が発見
 - 檜前遺跡群にて、飛鳥時代後半を中心とした掘立柱建物群と塀および大壁遺構が発見
 - 檜隈寺跡隣接地にてL字形石組みのかまどが出土
- これらの発掘調査・研究成果を今後の整備・管理に活かす。



奈良県「明日香における歴史展示等のあり方基本方針」

- 我が国の国家基盤が整備された地である明日香を、国家形成の経路が体感でき回想できる地として後世に残していくため、「歴史展示等のあり方」について、奈良県により、検討がなされている
- 3度の検討会が開催(H21. 6月、8月、11月)されており、歴史展示等の内容や手法について議論が行われた
- 今後、「明日香における歴史展示等のあり方基本方針」が策定される予定
※キトラ古墳周辺地区は、拠点施設に位置付けられている
- 今般の体験的歴史学習についても、上記の基本方針に留意しながら、内容の詳細化を図る

体験的歴史学習の テーマ・内容について（案）

体験的歴史学習のテーマ（案）

○キトラ古墳周辺地区整備のテーマ

キトラ古墳の保存と活用、および檜隈寺跡などの周辺の歴史遺産を生かし、東アジアとの交流で培われた歴史が訴える古代の時空間、生活文化を歴史と共に育まれた風土の中で体験・学習・交流し、地域の活性化に資する公園づくり

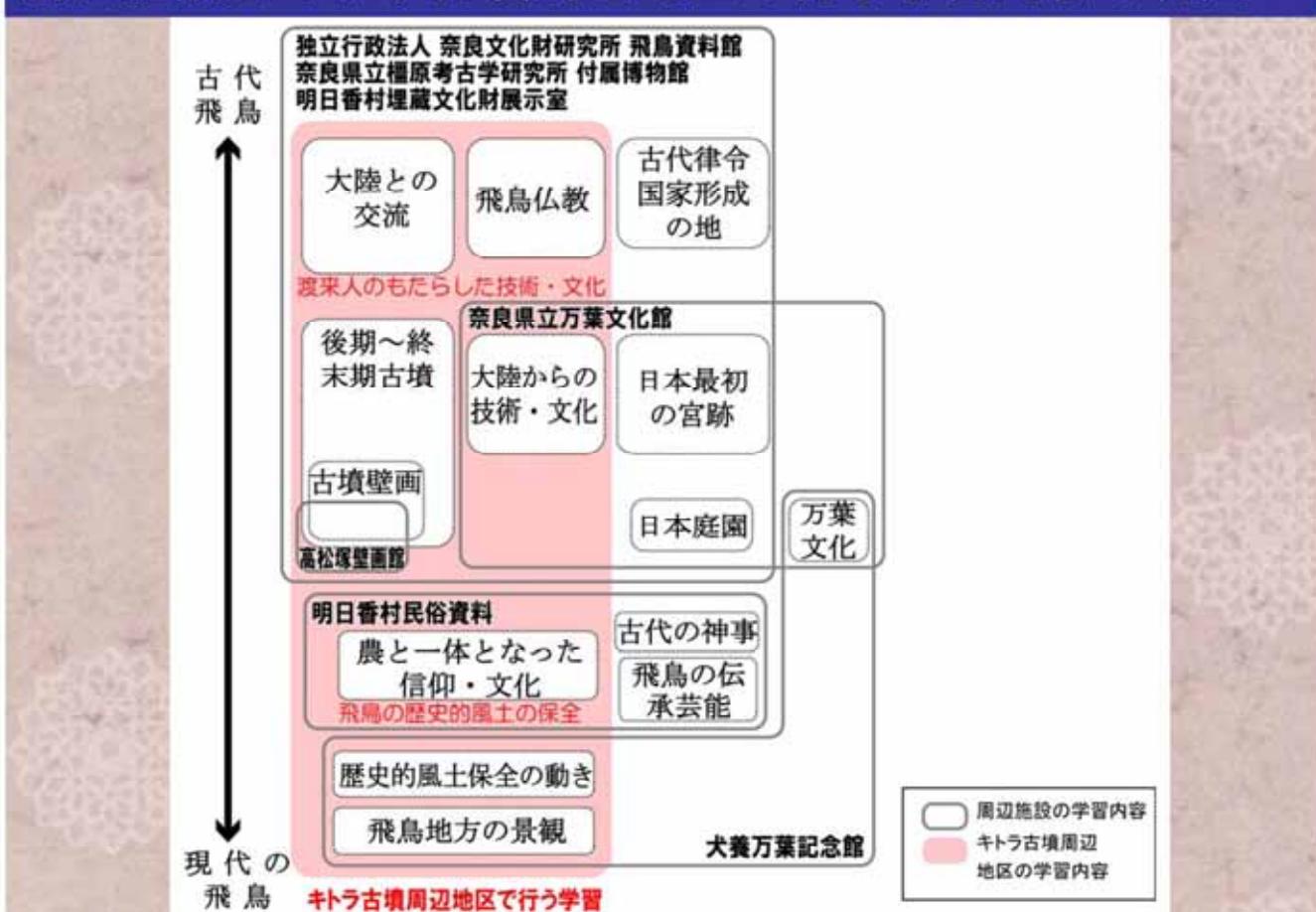
○キトラ古墳周辺地区的体験的歴史学習のテーマ

→ 本物を体感する：『キトラ古墳にまみえる』

→ 時空を体感する：『飛鳥の刻(とき)を身にまとう』

→ 風土を体感する：『檜隈の田園環境と戯れる』

周辺施設とキトラ古墳周辺地区で行う学習内容の範囲



キトラ古墳周辺地区で行う学習内容の範囲

渡来人のもたらした技術・文化

大陸との交流

百濟よりの僧・使者・工人の派遣、
仏教伝来、新しい技術の伝来、
遣隋使・遣唐使、諸国への
留学生(高向玄理・南淵請安)、
白村江の戦い

飛鳥仏教

飛鳥寺跡、大官大寺跡、川
原寺跡、坂田寺跡、檜隈寺跡、
豊浦寺跡、定林寺跡、橘寺、
岡寺、奥山久米寺跡、(壺阪寺、
山田寺跡)

大陸からの技術・文化

水落遺跡、飛鳥池遺跡、
檜前遺跡、
酒船石遺跡・亀形石造物

後期～終末期古墳

石舞台古墳、中尾山
古墳、岩屋山古墳、
マルコ山古墳、鐘子
塚古墳、牽牛子塚古
墳、天武・持統陵、
細川谷古墳群、都塚
古墳、束明神古墳

古墳壁画

高松塚古墳壁画、
キトラ古墳壁画

飛鳥の歴史的風土の保全

農と一体となった信仰・ 文化

綱掛け神事(男綱・女綱)、
おんだ祭り

歴史的風土保全の動き

飛鳥古都保存、明日香法

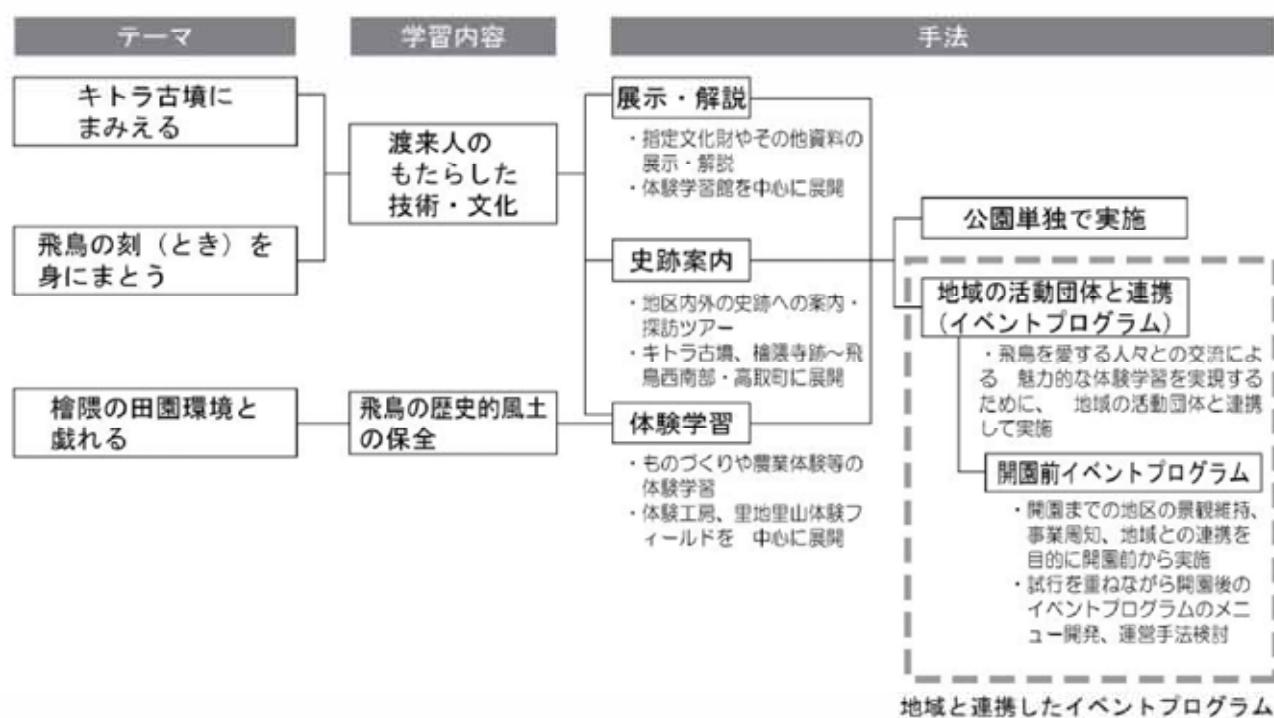
飛鳥地方の景観

棚田などの農景観、飛鳥川、
大和棟の民家

キトラ古墳周辺地区で行う学習内容（案）

学習内容	
渡来人が もたらした 技術・文化	<p>【渡来人の足跡】 飛鳥時代に朝鮮半島からやってきた渡来人が、飛鳥の地でどのような生活をし、古代国家の形成にどのように関わったかを、展示、演劇やパフォーマンス、暮らし体験、史跡案内などにより、来園者にわかりやすく伝える。</p> <p>【渡来人のもたらした技術・文化】 渡来人がもたらした技術や文化について、実物資料(出土資料)の展示や古墳・遺跡への案内、ものづくり体験等を通して、理解を深めてもらう。</p>
飛鳥の 歴史的風土 保全	<p>【飛鳥の魅力とは】 史跡と自然が一体となった飛鳥の風土の魅力を、写真や映像などの展示や、実際に歩いて感じてもらうとともに、どのような経緯で飛鳥が守られてきたのかを解説する。</p> <p>【飛鳥を守るために】 飛鳥の風土を守るための取り組みをリアルタイムで情報発信するとともに、園内での農業体験や里山管理体験、明日香の伝統行事体験などの体験学習を通して、飛鳥の歴史的風土とその保全に関心を持ってもらう。</p>

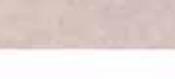
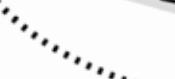
体験的歴史学習の展開手法



体験的歴史学習の展開イメージ

檜隈寺跡周辺

体験工房を拠点とした、東アジアとの交流と、渡来人がもたらした技術・文化を題材にした学習活動の展開



キトラ古墳周辺

キトラ古墳を拠点とした、古代の天文世界と古墳壁画を題材にした学習活動の展開

